

聴取書

国籍

比律賓

本籍

レイテ州ダナワン町ソラノ部落

住所

右ニ同シ

パビヤン・ミシヤスノ妻

テモテヤ・アゲポ(女)

当二十二年

右者昭和十八年一月二日當介隊ニ於テ本職ニ付シ左ノ陳述ヲナシ

一

私ノ国籍本籍住所職業氏名年令ハ前述ノ通りナリ

アリマス

二

私ノ家族ハ夫(結婚者)パビヤン・マシヤス(ニニ)ト長男(一)ノ三名

陸

尋

テ陸家ニハ度父並弟等カ
住ニテ居マス

三

私ハ兵今ヨリ「カロツコツク」ニ
駐在ニテ斗ル日本兵隊サン
ニ強姦サレタ事ニ就テ申
上テマス

四

昨年十二月二日一夜七時頃
私ハ家ヲ夫弟等ト全部
テ七名ト夕食中日本ノ兵
隊サンニ名売ラレ一名ハ私ノ
家へ上ツテ去ラレ他ノ一名ハ
家ノ外テ見張リヲシテ斗
夕様テス
家ニ上ラレタ兵隊サンノ顔ハ想

ヒ出ニマセンカ体ハ普通通り
肥イテ背ハ普通通り高サト
思ヒマレタ其ノ兵隊サンハ
私ノ家へ上ルヤ銃ヲ私等
ノ方へ向テ才前等ハ兵隊
カト胸ハレマシタカラ「イ、エ」
市民ヲスト答へマシタラ
弟等ノ人数ヲ調ハチカラ
私ニ向ヒ「エウレ」(行テノ意)ト
云ツテ外へ出ル様ニ手真似
ヲスルノヲ私ハ恐ニイノテ云
ハレレ儘外へ出テ行キマシタ
外テ見張リヲシテ本夕兵隊カ
私ノ右手ヲ掴カンテ僻道へ

五

連出しまシタ 其ノ兵隊サニカ
 だかぜヤ一レハ娘カ其処ニ居ル
 カノ意ト私ニ問ヒマシタノテ
 アリマセント答テハマシタ
 ソシテ兵隊サニニ名ト私ハタテ
 ニレ町ノ方ハ歩カ行キ私ノ
 父ノ家ノ前テ私ハ右手ヲ擱
 マレタ儘オ父サニ一寸事テ
 突レト云ワタラ父ハ直ク家
 カラ外ニ出テ事テ也ノ女ハ
 私ノ子テアリマスト兵隊ニ云
 イマレタラ父ニ封レコラト家
 ニ帰ル様ニ云イマシタ
 私カ私ノ父ノ家ノ前テ父ヲ

六

時ニテ居タ時私ヲ強セシタ
 兵隊サニカ父ノ隣リノ家ニ
 入ツテ ワニタ、カルシヤ(ニニ)
 ナル娘ヲ連レ出シテ私ト同
 シクカロンコツケル命嘴ノ方ハ
 歩カサレマシタ
 タシヤレノ家ノ前ノ路上ニ
 二人ノ兵隊サニカ女ヲ交換大
 セントシタラシク其ノ話中
 ワニタ、カルシヤハ外ケ去リマ
 シタ私ハ依然右手ヲ擱マ
 テ居タノテ外ケラレマセンテ
 シタ
 私ニ夫カアリ乳ヲ呑ム子供

カ居リマスト云ツテ帰リシニ
 笑レト兵隊サンニ頼マシ
 タカ手ヲ掴ニテ中ル兵
 隊サンハ腰ノ鉤ヲ抜キ
 殺シハニナイト云フニ
 夕様テニ夕肥ワ夕兵隊サン
 カ私ヲ無理~~強~~連レシマシ
 タノテ聲ヲ出シマシタラ
 其ノ兵隊サンハ私ノ口ヲ
 塞キ肩ヲ掴ニテ床上ニ私
 ヲ倒シ兵隊サンハ跨下ヲ
 脱イテ猿又トレヤツトニ
 ナリマシ夕其レカラ兵隊
 サンハ私ノ着物ヲ下カラ

陸

捲キ上ケテ和ノ膳ノ上ニ登
 ツテ世姪注シ様ト云クテ
 私ハ下カラ兵隊サンヲ取除
 カウトシマシタカ兵隊サン
 ノ力ニ及バヌ世姪注サレ
 マシ夕一回終ワタラ兵隊
 サンハ外へ去タノテ私ハ
 家へ外ケテ帰リマシ
 夕家へ帰ワテ~~私~~着物ヲ
 見マシタラ世姪注ノ為ニ汚
 レテ居タノテ着更へマシ
 タ

七

私ハ日本ノ兵隊サンカ恐ロシ
 イノテ翌三日山へ~~難~~難

シマシタ

八

ワニタ、カシヤモ日本ノ兵隊ガ
カ恐ロニイノテ、十二月十日
頃一家族全部、サマル州
ハサイ所、カロアイヤニ部、落
ニ遊難ニシタ様テ、ス
他ニ申レ立テル事ナキヤ。
アリ、マセン

陳述人

Simata Aquino

通車

桂宗平

右讀ニ聞ケタル處相違ナキ旨
申立テ署名捺印セリ

昭和十八年一月二日、多クロバン憲兵介隊

陸軍司法警察官 陸軍憲兵曹長 渡邊孝彦

國籍

比律賓

聽取書

本籍
現住所
レイテ州ヌナワン所カロソ部落
右旨

トコテヤ、レトコヤ(女)

方寸五才

抗者昭和七年十月
於本職ニ対シテ、陳述ヲ為シタ

私ノ國籍、本籍、現住所、氏
名、年令、ハ前記ノ通リ相違
アリマセン

私ハ現住所ニ五十年迄シテ
ニテ居リ、モシテ日本軍力私